

第2回 郡上市住民自治推進懇話会 要録

【日時】 平成23年11月7日（月） 午後7：30～9：30

【会場】 八幡防災センター 防災研修室

【要録】

1. 開会（企画課長） 午後7時30分

2. あいさつ

（座長）

- ・今日は、住民自治の考え方について、皆さんとワークショップを通じて共通理解を深めたいと思っている。

（企画課長）

- ・広報郡上11号において、「市民自治・市民協働」取り組みとして、郡上市住民自治推進懇話会の設置を掲載した。
- ・10月14日に座長、今井アドバイザーと垂井町まちづくり基本条例の制定に向けて中心的な役割を果たされたN氏と面談をした。
- ・垂井町まちづくり基本条例は、策定委員会を13回、自主的な勉強会を開催し進められた。策定まで2年を要している。
- ・垂井町まちづくり基本条例は、平成22年3月31日に策定したが、平成23年4月1日の施行日までの1年を住民への承知期間としている。施行まで、足掛け3年をかけている。
- ・郡上市住民自治基本条例の取り組みについては、急いで結論を出すのではなく、十分な議論をお願いしたい。

3. ワークショップ「身近な住民自治を考えようーあなたも実践している住民自治ー」

（事務局）第1回住民自治推進懇話会及び第1回幹事会の要点報告

- ・9/22 住民自治推進懇話会では、市長より「住民自治は市民の皆さんが市政や地域の主人公といえるような自治と思っている。」と説明があり、今井先生より「住民自治基本条例」について、講演をいただきました。
- ・10/11 第1回住民自治推進懇話会幹事会では、身近な住民自治である自治会について、地域の安全、安心などの取り組みについて話し合いがされました。自治会の仕組みづくりや公民館、地域団体との連携が住民自治に繋がるという意見をいただきました。また、第2回の懇話会では、ワークショップ形式により、皆さんからご意見をもらってはどうかという提案がされ、本日の懇話会となりました。

（1）ワークショップのテーマ

（今井アドバイザー）第1回住民自治推進懇話会の資料に基づきポイントを説明

- ・住民自治は、自らのまちのことは、住民自らが決定し、あるいは住民自らの力で進めていくことである。
- ・住民自治は、特別なことをしている意識はなくても、既に身近な中で住民自治を実践している。
- ・自分たちでできることは、自分たちで行い、できない場合のみ行政が手助けを行う。あるいは引き受けることである。
- ・自分たちのまちに何が不足しているのか、課題は何か。
- ・自分たちのまちを今後どのようにしていきたいか。

（総務部：島田主任）

- ・郡上市自治会等市民組織活性化方針を策定（平成23年3月策定）するため、自治会長、地区長224名に対しアンケート調査を実施し、199名から回答をいただいた。このアンケート調査を基に取りまとめた資料である。地域の現状や活動内容を記載している。

※島田主任より自治会アンケートに関する説明

(座長)

- ・今井先生からの住民自治の説明と自治会アンケート調査結果を参考にワークショップを進めていただきたい。
- ・進行は、予め市職員をお願いしている。
- ・ワークショップでは、自らや地域で実践している住民自治、住民活動や自治会活動、地域活動で課題となっていることを付箋に記入してください。
- ・模造紙には、同類の意見ごとに標題を付け、標題間の関連や連携について図示をお願いします。
- ・問題、課題に対して、解決可能なことなのか、解決できないことの整理をし、解決できない場合は、行政の協力・事業者の協力など、どうしたら解決できるのか対応策を考えてください。それでは、ワークショップを開始してください。

(2) グループ発表

(1 班)

○文化活動（公民館活動）

- ・公民館活動の様々な行事
- ・子供だけの文化祭（11回目）
- ・文化協会員としてイベントに参加（会員の減少・高齢化）
- ・文化祭、ヨガ教室、花・着付け・ベル教室、花瓶づくり、
- ・公民館サークル：城下町夜ばなしの会（歴史講座）
- ・観光客への街中案内（10人→6人へ減少）

○環境整備（活動）

- ・河川清掃、道路の草刈、水路の清掃、公園・道路の清掃、公民館・宮の清掃、井普請
→自治会により、出不足料がいる。
- ・ゴミの分別をしている

○団体活動

- ・青年団（明宝のみ）
- ・消防団（団員の減少・高齢化）→消防団OBシステム化
- ・女性の会（八幡のみ）
- ・民間「さつきの会」
- ・地区運動会
- ・ママ友の集まり
- ・婚活＝栃尾里山倶楽部
- ・炊き出し（八幡）
- ・昨年自治会長

○子供関連の活動

- ・交通安全街頭指導
- ・小学生の登校見守り
- ・放課後児童クラブ
- ・子供とデイキャンプ

○高齢者関連の活動

- ・歩け歩け（ウオーキング）に独居老人を見る
- ・老人サロン
- ・敬老会（中止のところもある）

○伝統文化活動

- ・祭りで獅子を教えている＝大人と子供の交流
- ・祭り（大神楽、芝居、余興）への参加：子供が少ないため、舞子のなり手が不足、大人の不足
→都会の女性が参加？
- ・葬式の手伝い
- ・八幡ふるさとまつり実行委員会

○地域づくり

- ・公民館長の充て職で実行委員・役員をしている
- ・30歳までの人達で地域づくりを構成している

- ・自治会の中の一つの組で地域起こし活動＝栃尾里山倶楽部＝外から人を受け入れる
- ・回覧板を回す（当たり前か）
- ・高校へ子供を乗せていく

○地域イベント

- ・音楽、コンサート、落語会の開催
- ・御伽
- ・伝統文化－移住者の相談

（２班）

○優しくしましょう

- ・子供の見守り活動
- ・独居老人宅の見守り
- ・独居老人宅のエコプラザへのゴミ出し
- ・地域内の病人・高齢者の確認に努めている
- ・３５軒の地区であるが高齢者の名前を全て知っている
- ・地域内であるが、老人宅を２日に１回訪問している
- ・できる時は、病院へ送迎している
- ・高齢者の運転が危険なときがある
- ・若い年寄り（定年退職者）の活用方法
- ・廃品回収の手伝い
- ・防災訓練

○対応策（どうしたらいいか）

- ・住みやすい地域を自分たちで創っていこうという気持ちを共有する手立てがいるよ
- ・新しいルールが必要
- ・顔のわかりあう地域づくりが大切だ
- ・良い事は、良い文化として残していきたい
 - まめかな運動＝例えば、子供を中心に活動してはどうか
 - 子供の下校時間にチャイム（音楽）を鳴らす
 - 音楽が聞こえたら、皆が屋外へ出て散歩する（和良地域）
 - 子供と一緒に登下校する（家にいる人、シニアの人、主婦の人等）
 - 屋号の復活で呼び合う

○美しくしましょう

- ・毎月１回当番制で公民館の清掃を行っている
- ・公民館の清掃を毎月交替でやっている
- ・共同場の整備
- ・地域花壇の作業
- ・清掃活動（地域美化）
- ・桜並木の手入れ。今年は夫と水やりをした
- ・井普請を自治会行事として実施している
- ・井普請を実施している
- ・山の下刈り作業
- ・土木作業、草刈
- ・子供用水遊び場の整備
- ・月１回の川掃除に出ない家がある
- ・神社の灯明当番をしている
- ・お宮の掃除当番をやっている。係りがある。鐘が鳴ると集まってきて度々
- ・お宮の月１回掃除当番をやっている。
- ・各班交替でお宮、公民館の掃除をしている
- ・集会場の清掃している（女性）
- ・女性の会は無くなったが、敬老会や薪能とか女性が必要な仕事は分担してやっている
- ・作業に参加する人が限られている。参加しない人は全然しない
- ・毎月、地区定会を２６日に実施している

○対応策（どうしたらいいか）

- ・役割分担して奉仕作業を実施する（シニアクラブ、子ども会、女性の会、PTA）
- ・順番制で作業を実施する
- 楽しくしましょう
 - ・毎日、いろんな情報をコーヒー店にて交換
 - ・女性の頼母子がある。月1回、同世代が集まってワイワイ
 - ・地区会単位で女性だけの忘年会が実施されている
 - ・自治会対抗の運動会を実施している
 - ・世帯数が少ないほどまとまりやすい
 - ・行事に自主的に参加する人が少ないことが課題である
- にぎやかにしましょう
 - ・秋祭りに子供神楽を継続している
 - ・神社のまつりを実施している
 - ・祭礼行事の協力（子ども会、女性の会、自治会等）
 - ・山の講（どんど焼き）について、子供が少なくなっていることが問題（美並）

（3班）

- 美化活動
 - ・シニアクラブがお宮の掃除を実施している
 - ・女性部が公民館を清掃（年2回）
 - ・独居世帯の増加、高齢化により、清掃、美化活動へ参加が難しい
 - ・美化活動を年2回実施している
 - ・花壇の管理を女性部が実施している
 - ・自治会、地区会活動（夏の懇親会、草刈）
 - ・地区会総会（年3回）：年寄りばかり
 - ・秋祭り：子供がいない
 - ・地区内の清掃活動：花壇づくり
 - ・区民による水路の掃除
 - ・井普請と花見を兼ねて4月に実施している
 - ・公民館活動（運動会、盆踊り大会、振興大会、もち花づくり、歩け歩け大会、登山等）
 - ・林道の草刈、水路の清掃
- 課題
 - ・少子化
 - ・子供達の顔を知らない
 - ・新しい活動は出てこない（役済まし）
 - ・年一回の総会のみで終わり易い
 - ・行事のマンネリ化、形式的
 - ・ことなかれ
 - ・世代を越えた繋がりが無い。特に女性同士
 - ・隣と話すことが殆どない
 - ・田舎の方が、都市部より以外とつながりがあるのでは？
 - ・住民自治に対する役員・住民の意識が低い
 - ・地区会内の班の世帯数に差がある
 - ・高齢世帯の増加
 - ・町内の若者の活躍意識がない
 - ・葬式では各戸が参列する
- 子供がキーワードである。
- 公民館行事には、地域を越えて参加できる仕組みがあると良い

（3）講評（今井先生）

- ・発表を聞いていて、皆さんの地域では、活発な活動をしていると感じたが、活発なうちに課題について考えていかなくてはいけない。
- ・地域の担い手として、公民館、自治会、女性の会、子ども会が考えられる。
- ・子供のための施策、活動がキーワードではないか。

(座長)

- ・子供というキーワードをいただいた。
- ・次回は、自治というキーワードも考えていきたいと思う。自らの地域は自らが考え、納めていく、実行していく、出来ないところは行政が補完していくというようなことを皆さんと進めたいと思う。
- ・幹事会で相談し、お知らせする。

4. その他

5. 閉会（副座長） 午後9時30分